

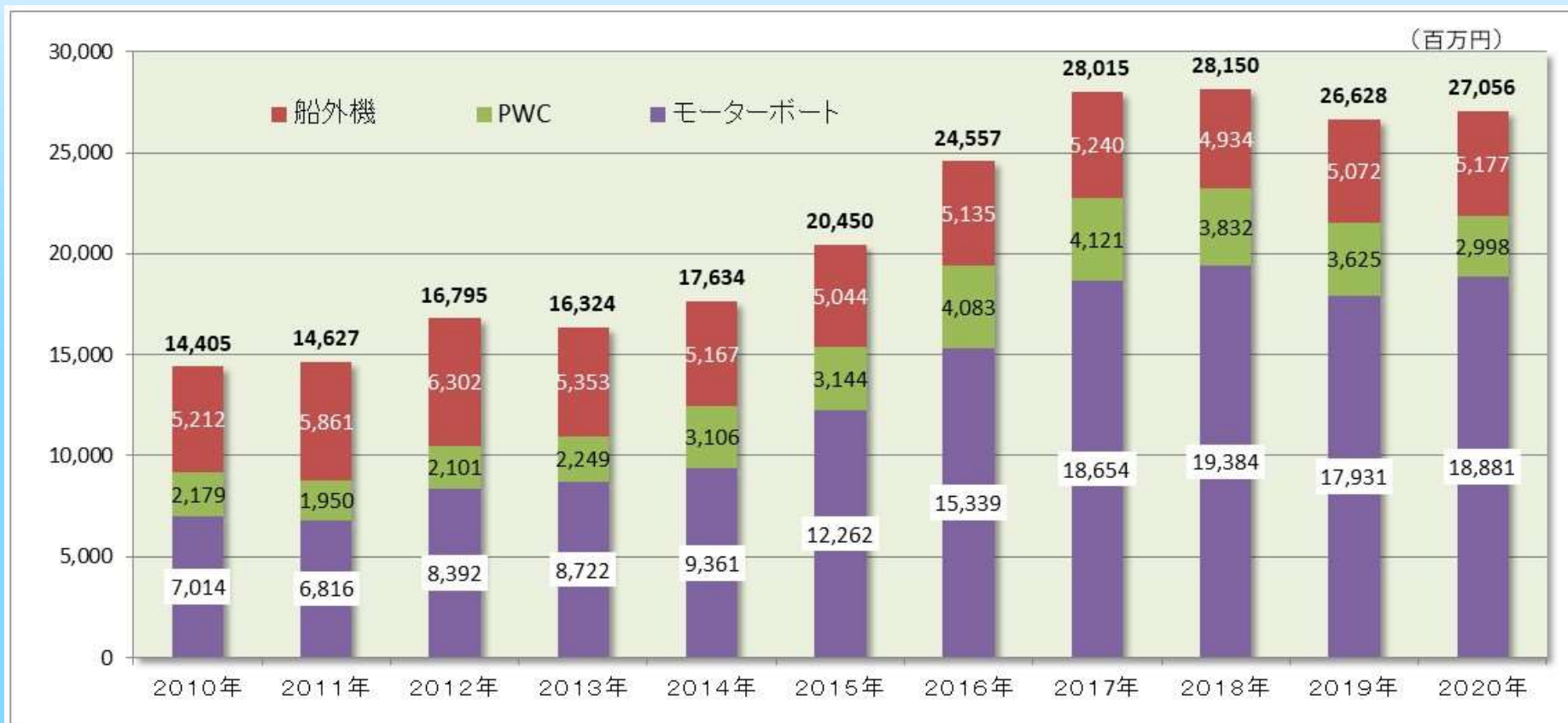
マリン業界の出荷及び 市場動向

令和3年6月
一般社団法人 日本マリン事業協会

資料1 「マリン事業に係る国内市場規模(出荷金額)の推移(国内+輸入)



- コロナ禍2020年の出荷金額は約271億円で、対前年比102%。ボート/船外機は増加。PWCは減少。
- 特にPWCは、2017年をピークに減少傾向が続き2020年は対前年比83%となりほぼ2014年規模となる。

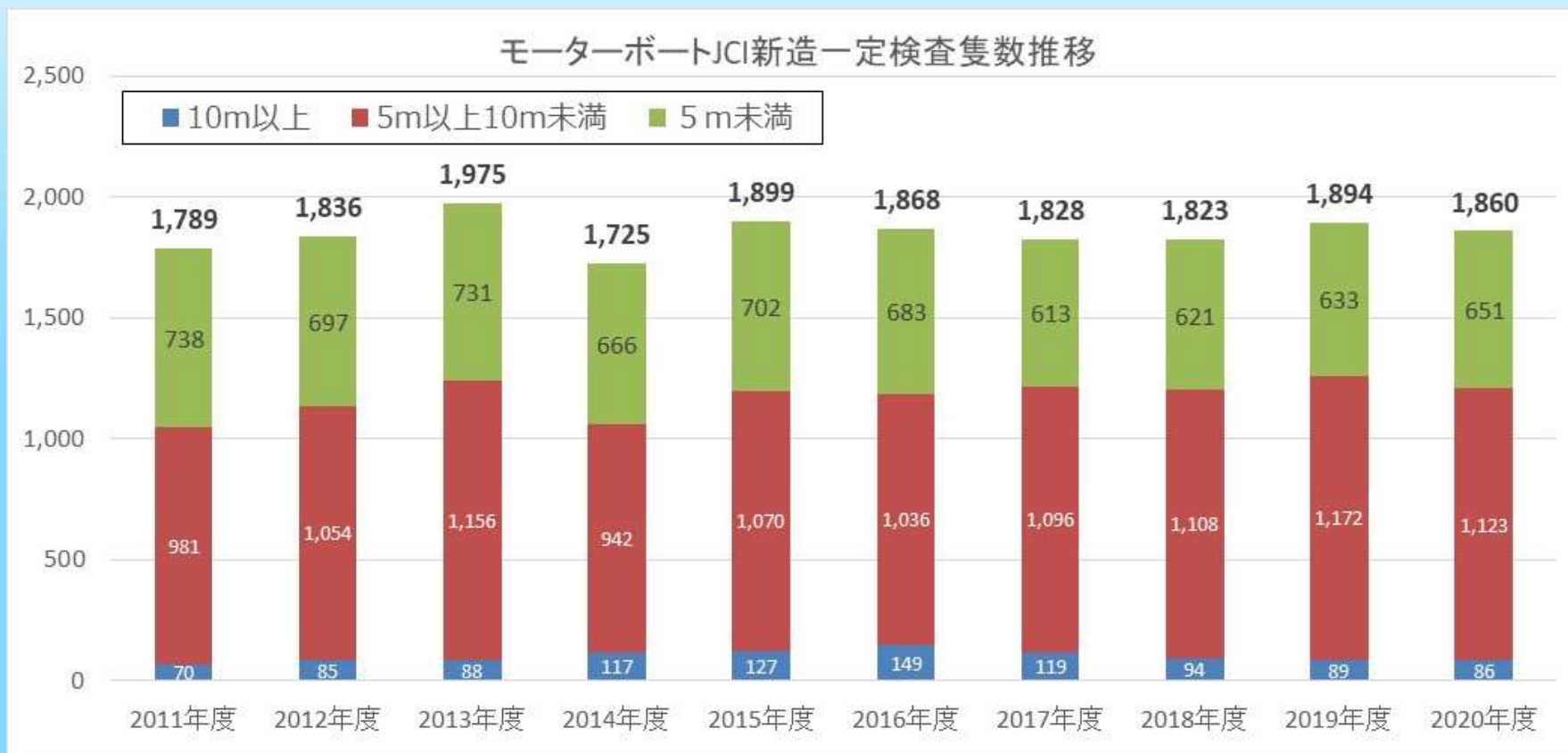


* 1~12月累計

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	前年比
モーターボート	7,014	6,816	8,392	8,722	9,361	12,262	15,339	18,654	19,384	17,931	18,881	105%
PWC	2,179	1,950	2,101	2,249	3,106	3,144	4,083	4,121	3,832	3,625	2,998	83%
船外機	5,212	5,861	6,302	5,353	5,167	5,044	5,135	5,240	4,934	5,072	5,177	102%
計	14,405	14,627	16,795	16,324	17,634	20,450	24,557	28,015	28,150	26,628	27,056	102%

資料2 「モーターボート(新造一定)の検査数推移」

- コロナ禍工場休業の影響で新艇供給数減が影響し5m以上は前年比96%
- 5m未満は、前年伸長103%と増加 2017年以降微増傾向。



	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
10m以上	70	85	88	117	127	149	119	94	89	86	97%
5m以上10m未満	981	1,054	1,156	942	1,070	1,036	1,096	1,108	1,172	1,123	96%
5m未満	738	697	731	666	702	683	613	621	633	651	103%
合計	1,789	1,836	1,975	1,725	1,899	1,868	1,828	1,823	1,894	1,860	98%

※1. 4-3月累計JCI新造(第1回定期検査)検査数データを基に作成。※2. 検査対象外のミニボート(3m・2PS未満艇)は含まず。

資料3 「水上オートバイ(新造一定)の検査数推移」

- リーマンショック後2011年度を底に2016年度迄回復基調にあったが4年連続減少傾向が続く。
- コロナ感染症の影響の中、商品在庫数の影響もあり2020年度は、前年伸張98%と微減。



年	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
台数	2,352	2,643	2,765	3,191	3,274	3,478	3,297	3,028	2,713	2,670	98%

※ 4-3月累計JCI新造（第1回定期検査）検査数データを基に作成。

資料4 「新規ボート免許取得者の推移」



- コロナ禍アウトドア志向の高まりでボート免許取得者総数は約72千人規模へ 前年比126%と激増。
- ライフスタイルの変化で取得期間が長い1級は、130%と最も前年比率が高い、2級同123% 特殊小型127%



	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
一級	13,607	14,143	14,924	14,126	14,659	14,843	14,519	14,749	15,217	19,837	130%
二級	19,376	20,841	21,346	21,793	22,942	21,913	23,351	24,227	23,812	29,226	123%
湖川小出力	597	619	575	555	519	576	553	643	592	566	96%
特殊小型	14,338	16,249	18,002	18,305	18,890	18,617	18,348	18,205	17,637	22,346	127%
計	47,918	51,852	54,847	54,779	57,010	55,949	56,771	57,824	57,258	71,975	126%

※ 4-3月累計 (一財) 日本海洋レジャー・安全振興協会データを基に作成。